

平成24年12月17日発行

北海道教育庁総務政策局  
教職員課小中学校人事G

<第4号>

# 広域人事だより

## 広域人事で異動した先生方からの近況報告

広域人事で異動された方の近況報告を、御紹介させていただきます。

現任校 遠軽町立遠軽中学校 (前任校) 美唄市立美唄中学校

氏名

秦 美雪

### ○ 地域の様子

遠軽町は自衛隊が駐屯し、道東の中心となっている町です。町の中央に学校や病院、警察署があり、生活するのに不便は感じません。また、地域の方々も教育に熱心です。

遠軽中学校は全校生徒が約240名の道東の中規模校です。前任校と同じ規模です。オホーツク管内の中心校として積極的に研修に力を入れています。生徒は落ち着いており、多くの生徒が部活動に参加しています。全道、全国大会に進出する部活動も少なくありません。



(宿泊研修にて) by H. Egawa

### ○ 新任校での勤務状況等

第2学年副担任、研修部担当、卓球部顧問、2、3年英語科担当

前任校でも担当した経験のある卓球部を持っており、部員と日々練習に励んでいます。研修部では新しいテーマに取り組んでいます。今年が初年度です。自分が以前より研修を深めたいと考えていた「Q-U」に取り組んでいます。「Q-U」のデータに基づいた授業実践を行っています。

### ○ 生活の状況

前任校と変わらない学校規模でしたので不安なこともなく、スムーズに職場に慣れることができました。職場の教職員が自分より比較的年齢の若い職員が多いので、いろいろな元気をもらって仕事に取り組んでいます。

初めての単身赴任ですが、学校が町の中心にあり大規模な総合病院が学校の前にあり、たいへん恵まれた地域で勤務しています。

### ○ その他

広域人事の制度により、空知管内では経験できない教育実践をする機会を与えられたと思います。ベテランの先生からさまざま授業の組み立て方や生徒指導の手法を教えていただき、自分も新たな視点を持つことができました。

知っている教職員のいない地域に来て、心を新たに勤務しています。ともすればマンネリ化しつつあった自分に喝をいれて、襟を正して仕事に集中しております。3年間、充実した日々を過ごし空知に戻って自分の教育実践に役立てたいと思います。

現任校 旭川市立永山小学校 (前任校) 留萌市立留萌小学校

氏名

岡田 誠司

### ○ 学校の様子

本校では、2つの特色あることを行っています。1つ目は、毎週金曜日の朝の時間帯を使い、「ドレミタイム」という音楽集会を行っていることです。各学年が全校で歌う曲を決め、月ごとに担当し、3回ずつ行います。毎朝、各クラスが朝の会の中で「ドレミタイム」の曲を歌い、全校中に気持ちのよい歌声が響き渡っています。各学年の先生方が工夫して指導していますので、どの学年もとてもきれいな歌声です。「ドレミタイム」のときは保護者が見に来ることができますので、毎回、多くの方が見に来ています。

2つ目は、2月に行われる全校参観日で「道徳」の授業をすることです。道徳は週1時間しかありませんので、授業の質を向上すべく実践を図っているところです。毎週行われる学年研修で価値項目を話し合ったり、副読本・心のノートの活用の仕方を考えたりしながら、子どもたちの心を育てていっています。来年度、本校で全道レベルの道徳教育研究大会が行われます。そのため、2学期からは、各学年一層道徳に力を入れ、それぞれが研鑽を積んでいるところです。

- 新任校での勤務状況（担当学年、校務分掌、取組状況等）  
6年3組40名を担当しています。5年生のときも担任をしていたのですが、4クラスから3クラスに減り、一クラス当たりの児童の数が増えました。最高学年ということで、常に学校の先頭に立たせ、下級生のお手本となるような行動をとるよう指導しています。「笑顔」「拍手」「ありがとう」があふれるクラスを目指し、絶対にいじめのない、一人一人が居心地のよい環境づくりに努めていきたいと思っています。  
本校の研究主題「自ら学び、考え、豊かに表現する子どもの育成」のもと、指導案検討を重ねたり、他の学年の授業を見たりしながら、いろいろな先生方の指導観を学ばせていただいています。11月に公開研究授業（「国語～『鳥獣戯画』を読む」）をやらせていただくことになり、現在は、教材分析や指導案検討を行っているところです。

- その他  
9月に札幌・小樽方面へ修学旅行に行ってきました。本校では、今年度から修学旅行が春から秋に変更になりました。子どもたちと最高の思い出をつくることができました。  
今後は、卒業式に向けて、いろいろな人や物に感謝の気持ちをもたせながら生活をさせていきたいと思っています。  
広域人事も2年目になりましたので、折り返し地点になりました。今後、自分にとって何ができるのかをじっくり考え、今後さらに研鑽を積んでいきたいと思っています。



現任校	厚沢部町立館中学校（前任校）北斗市立浜分中学校	氏名	赤坂 倫子
-----	-------------------------	----	-------

- 城跡残る館町  
厚沢部町の館町には、明治元年に松前藩が築城した館城の跡が残っています。館城は築城開始からわずか75日間で陥落したという悲しくも珍しい歴史をもっています。  
現在も5月に『館城祭り』があります。私たち中学校の教員も明治時代の衣装に身をつつみ、生徒と一緒に大砲を引いて町を練り歩きました。異動したばかりの5月でしたが、地域の方との距離が一気に縮まりました。  
歴史と地域の活力・温かさが実感できる美しい町。それが館町です。



- 小規模校だからこそ  
本校は、1年生7人、2年生5人、3年生5人、全校生徒17人という小規模校です。  
このような小規模校に勤務をしたからこそ自分自身の授業のことがよくわかります。生徒に指示が伝わっているのかどうか、生徒は学習内容を理解できたのかどうか、本当によく見えるからです。



本校は、自分の授業を改めて客観的に評価し、そして改善策を考え実践できる環境にあると言えます。  
また、私は国語が専門の教科なのですが、今年度は免許外で全学年の社会科の授業も担当しています。今までになかった経験です。  
中学校では自分の専門以外の教科のことについてはなかなか知る機会がありません。しかし、今年度社会科を担当したことにより、社会科の各学年の指導内容について初めて知ることができましたし、生徒へわかりやすい授業を行うためには、その教科の特性によってさまざまな工夫や手法があるのだということを実感することができました。

- 大切な新しい絆  
広域人事という得難いチャンスに恵まれて手にすることができたかけがえのないもの。それは何といても、新しい出会いです。  
檜山と渡島は隣り合っている地域ではありますが、年間指導計画の形式や学校行事など違いがある部分もあるのだということがわかりました。  
「このようなやり方もあるのだ！」とか「このような取り組みをしているんだ！」ということを知ることができたのは、これからも教師として歩いていく上での貴重な財産です。  
また、他管に異動したからこそ出会うことができた先生方。「一滴一滴の水が水差しをいっぱいにする」という言葉がありますが、本校の先生方と一緒にできたことで私の教師生活はより豊かなものとなりました。  
たった1度しかない教師人生、機会を与えていただき新しい扉を開けることができました。



現任校	江別市立大麻西小学校 (前任校) 神恵内村立神恵内小学校	氏名	中垣 隆之
-----	------------------------------	----	-------

- 地域の様子  
校区は札幌市との境目からで、学校から数分歩くと札幌市に入ります。つい最近、校区内に67戸の新興住宅地ができ、児童数の増加が予想されます。学校での教育活動に協力的な保護者の方が多く、PTAの行事やにも積極的に参加していただいています。

- 新任校での勤務状況等
  - ・ 昨年度3年生を担当し、今年度は4年生に持ち上がり、32名の子どもの担任を務めています。これまで担任を持ったクラスの人数は13名が最高でしたので、30名を超える大人数の担任を務めるのは初めての経験です。なかなか目が行き届かなかったり、三十二人三十二色の個性を受け止めて学級経営をしていくことの難しさを実感しています。
  - ・ 校務分掌は教務部で、クラブと外国語活動の担当をしています。クラブ活動では、高学年の人数が多く、第1希望に入れる子どもたちが少なく、調整の難しさを感じています。また、外国語活動はALTの先生が毎回授業に入って下さるので、指導案と教材の作成に携わっています。
  - ・ 経験豊富な先生方が周りに多く、お話をうかがったり、どのように指導されているかを見ることで学べる事が多くあります。校内研究授業では授業者を務め、同じ学年を担当する先生から、子どもたちに気づかせ、読み取りを深めていくための発問の仕方について教えていただきました。



- 生活の状況  
札幌までJRで15分に行けますので、セミナーには参加したり、授業に必要な物を買に行ったりしやすいことがありがたいです。また、前任地にはなかったコンビニやスーパー、100円ショップも近所になり、生活は便利になりました。  
特に病院に関してはかなり恵まれていると感じます。前任地は村の診療所と歯科診療所がありましたが、放課後の休憩時間は受付時間外(往診のため)でしたので、風邪を引いたときには熱があっても30キロほど離れた岩内町まで車を運転して行かなければなりませんでした。無医村になることもあり、校内で怪我をした子がいたり、病気になったときには心配でした。ここでは近くに病院がいくつもあり、病気や怪我をしたときにすぐに行けることが安心です。

現任校	えりも町立えりも小学校 (前任校) 南幌町立みどり野小学校	氏名	土谷 直樹
-----	-------------------------------	----	-------

- 地域の様子  
えりも町は、北海道の東南端に位置し、毎日のように強風が吹くために「風の町」とも呼ばれています。また、全国的に知られている「襟裳岬」や断崖絶壁の海岸が続く「黄金道路」など数多くの景勝地を有し、年間30万人以上の観光客が訪れているところです。  
私が勤務する「えりも小学校」は、町の中心部に位置し、170名ほどの児童が通っています。保護者も漁業関係者が多く、夏の昆布漁の時期には、子供達も朝から手伝いをするなど、町全体に活気あふれる様子が見られます。

- 新任校での勤務状況等  
5年生30名の担任をし、分掌は研修を担当しています。学校の年齢層も20代から40代までとバランスがよく、現在、研修では国語の「読むこと」を中心とした研修を全体で進めています。

- 生活の状況  
今回の広域人事で、家族で引っ越しをしてきました。家族で来るということでは不安もあり、楽しみもありました。  
日常生活に関しては、えりも町内には店も多く、困ることはありません。大きな買い物をするときには、帯広や苫小牧、札幌などに行くことになるので、その時には2~3時間かかるという現状はあります。  
楽しみにしていた目の前に海が見えるという環境では開放感も感じられ、他にも様々な貴重な経験もでき、毎日楽しんで生活することができています。



- その他  
先生達の年齢層も幅広く、多くのいろいろな考え方を感ずることが出来ます。3年間という短い期間ですが、私が伝えられるものは他の先生達に伝えていき、私自身も成長して空気に戻って還元していければと考えています。

現任校	北斗市立上磯中学校 (前任校) 厚沢部町立厚沢部中学校	氏名	堀田 麻由子
-----	-----------------------------	----	--------

- 地域の様子  
全校生徒が七百名近くいる道南の大規模校です。北斗市の中心で、施設等も充実しています。部活動で総合体育館や全天候型の陸上競技場を使用でき、学校祭の合唱コンクールを文化センターの大ホールで行えます。保護者や地域の人達の協力のもと、充実した教育活動が展開されています。

- 新任校での勤務状況  
学年所属：1学年担任  
教科：1学年国語（4クラス）  
校務分掌：教務部  
部活動：新聞部副顧問  
2年目となり、担任を持たせていただいています。昨年度よりも忙しさは増しましたが、その分、充実した生活となっています。校務分掌の仕事でも責任が増えましたが、昨年度の経験を生かして取り組んでいるところです。



- 生活の状況  
不自由していることはありません。体調を崩したときなども職場の先生方がサポートしてくださり、感謝しています。

- その他  
慣れることで精一杯だった1年目とは違い、今年度はさらに目的意識を持って取り組むことを心がけています。人事交流を終えて戻るときに、どのようなものを持ち帰ることができるかなどを校長先生からご助言いただきました。そのことを実践しようと思っています。

現任校	岩内町立岩内中央小学校 (前任校) 北広島市立西の里小学校	氏名	高橋 健
-----	-------------------------------	----	------

- 地域の様子  
日本海に面した岩内町は、共和町と蘭越町に隣接し、後志の交通の要所に位置する、人口14500人の町です。海の幸が美味しいのはもちろんですが、岩内岳のふもとは温泉があり、お湯につかりながら日本海・積丹半島を一望できます。美術館など文化的な施設が充実しているのも岩内町の魅力のひとつで、木田金次郎美術館や荒井記念美術館は、全国的にも注目されています。

- 新任校での勤務状況  
特別支援学級担任、特別支援教育コーディネーターを担当しています。支援学級は児童8名に対し教員5名と恵まれた体制で、子どもたちと一緒に元気に生活をしています。こちらに勤務してから半年以上が過ぎ、後志の気候風土、教育文化にも慣れてきたところです。



- 生活の状況  
岩内町の住宅事情は大変厳しいのですが、たまたま新築のアパートに住むことができ、快適に生活しています。スーパーマーケット2軒、ドラッグストア軒の他、百円ショップやホームセンターも近くにあり、生活に不便を感じていません。本校の隣には岩内協会病院という総合病院もあり、町の規模から考えると医療施設は充実している方だと思います。

岩内や寿都（車で約1時間）はお寿司や焼き魚など海産物が美味しいですし、倶知安やニセコ（こちら車で約1時間）は、おしゃれで美味しい店（サンドイッチ、スイーツ、スープカレー等々）がたくさんあります。職場の先生方からお勧めの店を教えてください、実際に訪ねることが休日の楽しみになっています。

- その他  
本校は岩内町で一番大きな学校（300人規模）ですが、来年度で閉校になり、隣の東小学校と西小学校へ統合になります。広域人事による他管内での経験は、自分自身の視野を広げる良い機会だと感じています。今後も周囲の方々からいろいろ教えていただきながら、たくさんの方の事を吸収していきたいです。

現任校 函館市立的場中学校 (前任校) 江差町立江差中学校	氏名 笠原 一樹
<p>○ 地域の様子 本校は、函館市の中心部に位置しており、近隣には高等学校も複数あり、学習塾や中央図書館などの社会教育施設も充実しています。また、娯楽施設もありますが、地域が協力して街頭指導などを定期的に行っており、中学生を見守る取り組みもしています。市電やバス、JRなどの交通機関も整備されており、公共施設（総合体育館、芸術ホール、陸上競技場など）も充実していて、地域の施設を活かした教育活動を行っています。</p> <p>○ 新任校での勤務状況等 担当学年：1学年担任 教科：1学年理科（4学級）など 校務分掌：生徒指導部（生徒会担当） 部活動：陸上部副顧問</p> <p>○ 生活の状況 都市部の学校で、前任校と比べて規模が大きくなることに不安もありましたが、職場の先生方が優しく、わからない所は丁寧に教えてくれましたし、元気のいい生徒たちに囲まれて生活していると、いつの間にか新しい環境にも慣れていったという感じです。また、スーパーや飲食店も多いので、買い物や食事には全く不自由していません。今後の冬（雪が降ったとき）の生活に少し心配はありますが、快適に過ごしています。</p> <p>○ その他 的場中学校の生徒たちは校内ですれ違うたびに元気よく挨拶をしていて、活気に溢れた学校です。広域人事という制度を利用し、他管内で教育する機会を与えてもらったわけですが、とても良い刺激を受けています。学校によって違いはありますが、他管内に出ることでより違いがはっきりすることが多いと考えます。そのため、最初は戸惑うこともたくさんありましたが、わからないことは積極的に質問して教えてもらいました。職場の先生方の人数も多いので、複数の指導（教科指導・生徒指導）を見ることができ、勉強になることがたくさんあります。自分のこれからの糧となるように1日1日を全力で過ごし、檜山に戻ったときには広域人事で経験したことを活かせるようにしたいと考えています。</p>	
現任校 浦河町立浦河第二中学校 (前任校) 岩見沢市立東光中学校	氏名 小林 広
<p>○ 地域の様子 南は太平洋、北には日高山脈が展望でき、牧場では競走馬が悠然と草を食む光景が見られる地域です。農業・牧畜業（軽種馬）を中心に、建設業従事者、公務員、団体職員などが多くの割合を占めていますが、海岸部を主とした漁業は減少してきています。経済的には恵まれている方ですが格差も見られます。地域父母の学校に対する期待度は高く、PTA活動や地域行事に対しては、積極的に、学校と地域とのかかわりは非常に密接であると感じています。</p> <p>○ 新任校での勤務状況等 3年生の副担任で教科は保健体育と家庭科を担当しています。分掌は生徒会のメインで、体育祭や学校祭の計画・運営を行いました。部活動は野球部を担当していますが、人数が少ないため、となり町と合同チームを組んでいる状態です。全校生徒43名は、各行事はもちろん、毎日の歌声活動など一生懸命に取り組んでいます。慣れない家庭科の授業で大変な面もありますが、素直で性格の良い生徒のおかげで充実した毎日を送れています。</p> <p>○ 生活の状況 前の地域に比べ、雪が少なく、そして夏もそれほど暑くならないので過ごしやすいです。ある程度の生活物品は町内で揃いますが、教材関係のものを購入するときは2時間半以上かけて苫小牧や札幌に行く必要があります。</p> <p>○ その他 地域の祭典・廃品回収などへ参加、町のスポーツ行事の手伝いなどがほぼ強制なので部活動との関わりで大変な部分もありますが、その分地域の人と交流を深める機会となっています。地域が変わるといろいろな違いが出てきますが、その違いに対応していくことで自分に力がついていくと実感しています。</p>	

